

理研シンポジウム 第17回 分析・解析技術と化学の最先端

日時： 2016年12月16日(金) 12:50-17:35 参加費：無料
会場： 鈴木梅太郎記念ホール (和光市広沢2-1)

多核チタンヒドリド錯体による窒素分子の活性化

島 隆則 (理研 環境資源科学研究センター)

食品研究におけるNMRの活用

山口秀幸 (味の素株式会社イノベーション研究所)

固体NMRによる微生物型ロドプシン・両生類由来抗菌ペプチドの構造
に関する研究

川村 出 (横浜国立大学大学院工学府)

質量分析を基盤とした時空間分解代謝解析システムの開発とその応用

三浦大典 (九州大学先端融合医療レドックスナビ研究拠点)

ESRで、出来ること

島田愛子 (株式会社JEOL RESONANCE)

疾患シグナルに作用する天然物スクリーニング研究から

石橋正己 (千葉大学大学院薬学研究院)

意見交換会 : 広沢クラブ (会費4,000円、学生2,000円)



参加申込・問合せ先： 国立研究開発法人理化学研究所
環境資源科学研究センター (CSRS)
技術基盤部門 分子構造解析ユニット
越野広雪 E-mail : koshino@riken.jp

